

## 受講生からの感想を一部抜粋してご紹介いたします

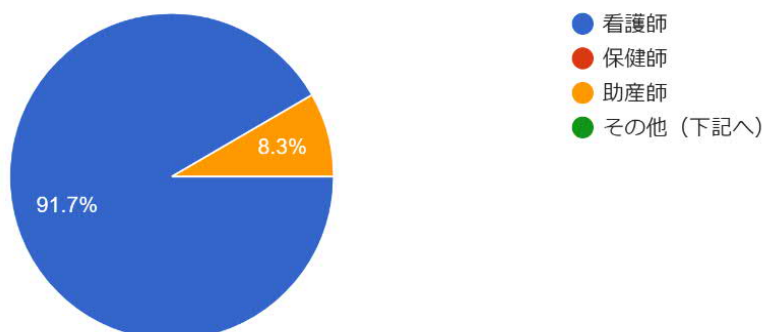
- ・最終段階で行ったロールプレイはとても実践的でこれまで学んだことを総括すること、また実際に支援を行ううえでの注意事項の再確認などができとても良かった。
- ・専門の方々が講師であり、幅広く様々なことを学びました。グループワーク、ロールプレイを通して実践も経験することができました。
- ・「男性被害者の理解」 女性被害より更に申告しにくい背景がある事。しかし、児童養護施での性被害の連鎖の生じやすさ等からも、男女共に早期からの（幼少期からの）性教育が必要と痛感しました。
- ・全ての講師の先生、プログラム作成に携わった方々、ロールプレイで貴重なアドバイスをくださった SANE の方々、スタッフの方々ありがとうございます。まさに“魂の講義”を受講できた事に感謝と責任を感じております。
- ・一緒に学んだ仲間が多くいることに勇気づけられ、ネットワークができれば、県内全体の支援体制も強化できると思います。ありがとうございました。
- ・病院勤務の看護師が検察官の講義を受けることはありませんでした。専門職はこういう研修を受けることは、今後重要ではと思いました。ジェンダーの視点の講義も医療専門職には、今後学意義のある研修のように思います。
- ・支援方法は毎年見直されていると知るきっかけとなりました。情報化の時代で適切な情報を得る力も必要だと感じています。
- ・どの講義も興味深いものでした。少なからず、日々の仕事で DV を受けた人や、虐待を受けた子供と接していたが、今まで行っていた対応が根拠を持って、正しかったと思える事や、間違った見方をしていたと気づき、振り返る機会になりました。
- ・演習の中で実際に SANE 役をしてみて、講義で基礎知識を学んだが、個々の状況に応じて対応する難しさを実感しました。

- ・今年度に入ってから、ロールプレイ、グループワークは、研修で学んだことを元に、自分の引き出しから選択し、考えながら、被害者のニーズに添った関わりを実施していくことができた。実際に経験するということは、とても有意義で、自分のこと、被害者のことも客観的に理解でき、できたこと、できなかったこと等が、よく理解でき、グループ及び全体の学びにつながると思う。
- ・グループワークは、実際にロールプレイングをすることで身につけていくので、よい体験となった。今後も継続して欲しい。
- ・どの講師の方も熱意があり、心が動かされました。こんな経験をした研修は初めてです。
- ・今回、養成プログラムを受講して本当に良かった。全体像が見えたこと、その中での各々の役割が理解できたこと、これらは自身の「力」になると実感しました。先輩の働きはとても勇気を与えてもらいました。皆さんの人間的な力がやはり、人を動かす力なのだと確信もできました。ありがとうございました。
- ・フォレンジック看護の概要を学び、性被害者支援看護師としての役割の大きさを自覚した。また、本院が病院直結型のモデル病院であったことを知り、この巡りあわせにもっとも驚きをおぼせなかった。自分の使命であると感じた。
- ・法医学的証拠採取では何を根拠に亡くなられたかや損傷を負った事実を追求するのかを、画像から知り得る技法を体感し、正確な画像の撮り方（証拠）も習得できた。
- ・とても勉強になる事が多く、ぜひ活かしたいと思う。今後、自分自身も勉強しなければならない。また、SANEのスタッフがこれからも増え、仲間が増えるといいと思う。
- ・警察・弁護士・検察官など様々な専門職種の方々ですが、性被害の方への理解と心ある支援がそれぞれに行われている事を学び、私自身がSANEの一員として安心して連携が行えるように思えた事は、今後の自身の活動の中で大きな収穫になりました。演習を通して、実践の難しさや協働の必要性を実感できた事は、大変学びが深まりました。

# SANE養成プログラム2020修了者 アンケート集計結果

## 0.あなたの職種を教えてください

12件の回答

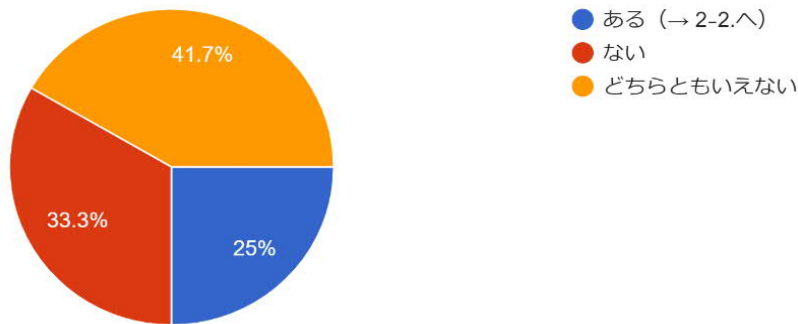


## 1.プログラム修了後、『皆様ご自身にとって』どのような変化がありましたか？（行動・対応内容等で変化したこと等）

- ・症状の裏に虐待が潜んでいないか、アセスメントするようになった。
- ・性暴力被害者の精神科治療で、病状や主治医の治療方針の理解が深まった。性教育の知識を身に付けるためにさまざまな図書を読んだ。
- ・性被害に対するアンテナが高く広くなった。倫理観が養われた。
- ・今後の活動に向けて、SRHRや包括的性教育について、研修会参加を含め多様な情報を収集している。
- ・救急外来で、外傷と聞いた際にはさまざまな角度から患者を看るという視野が広がった。
- ・スタッフに対して性虐待被害者に対する対応の勉強を行った。
- ・性暴力への意識が高くなった。
- ・昨年5月より海外出張となりSANEの活動ができませんでした。
- ・性教育などへの関心がさらに高まった。
- ・性被害者への対応。医師と警察官との調整等、積極的に関われるようになった。自分自信のアンテナも立つようになった。
- ・当院に入院して来られる患児の殆どが、性被害や身体的・精神的虐待を受けている。日々トラウマによるフラッシュバックや自傷行為に苦しんでいます。研修を受ける前は、何でこんな事をするのだろう？と疑問に思いながら関わりを持っていました。が、この様な行為に至るまでには原因があり、本人なりにそうしなければ生きていけない状況なんだ。と理解する事が少しずつできる様になりました。性教育も行なっていますが、知識不足を痛感しています。必要性を感じています。
- ・自傷行為を繰り返す子どもに単に心の病気と思わず、何か訴えたいことや心の葛藤などを秘めているのではとアンテナを高くして接するようになりました。

## 2. アクションプランの実践を経て、組織的な変化はありましたか？

12件の回答

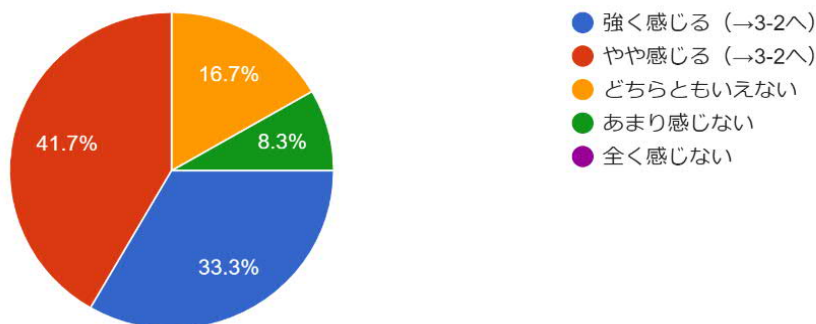


### 2-2. (2.であると回答された方) 具体的な内容をお教えてください

- ・性虐待相談窓口を開設する予定で動いてきましたが、コロナで市役所及び警察との話し合いが保留になってしまった。
- ・1 被害者来院時の流れが明確になった。2 SANEの役割が明確化された。3 看護師の意識改革。
- ・性被害を受け、なごみを利用して当院に入院している児童もいます。Drが定期的になごみの会議に参加されています。

## 3.本プログラムの受講・修了がご自身の『キャリアアップ』につながったと感じますか？

12件の回答

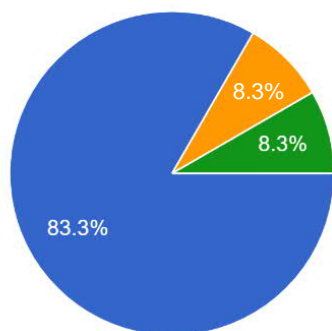


### 3-2. (3.で強く感じる、やや感じる、と回答した方のみ) どのような部分でそう感じるか、お教えてください

- ・将来の方向性についても考えるようになった。
- ・大学からの単位認定であること。
- ・受講以前より看護の幅が広がったから。
- ・SRHR全般に関する活動を目指す契機となった。
- ・アセスメント力や対応力、また他職種との連携について深く学ぶことができた。救急外来で勤務する上でも、また今後の看護師人生としても受講した経験はキャリアアップにつながっていると思うため。
- ・院内で性虐待の事例があった場合saneとして自分が積極的に関わると言う意識を持てた。
- ・知識が増えたことが一番。そしてその知識を現場でも活用したり、仲間にも伝えられたことがキャリアアップにつながっていると思います。
- ・警察との関わり方や、情報共有出来るようになった。
- ・研修を受けて、知識を得る事ができた。入院中の限られた期間に少しでも安心できる場所・安心できる大人がいる事、相談できる大人もいる事を知ってもらえる事。今後の患児の人生に少しでもお役に立てたらと思いながら関わっています。

#### 4.周りの方に、本プログラムを薦めたいと思いますか？

12件の回答



- 思う
- 思わない
- 病院側に協力体制がないので、せっかく受講しても活動が難しい
- 個人の自由意志によって受講を考慮・決定すべきものだと思う。

#### 5.全体を通じての自由記述

- 受講して意識の変化だけでなく、世の中を動かす力となると思います。
- 自部署（救急病棟）に新たにSANEが増えたことで、協力して今まで援助の行き届かなかった人にも手が差し伸べられたら嬉しい。
- エキスパートによる講義は、被害者支援に対する知識を得るだけでなく、人の生命や人権について改めて考える良い機会となりました。
- 救急外来の看護師は研修を通じて学んだことが実践で役に立つと場面があると思います。
- 産科で仕事していてもまだまだ知らないことがあるのだなと感じました。自分の知見を広げる、という意味でもこの研修はとても大事だと思います。受講していてつらい瞬間もありますが、終わった時の自分の成長に驚くと思うので研修頑張してほしいと思います。
- 児童虐待の報道を聞かたびに、胸が痛みます。家庭の問題ではなく、社会全体の問題として取り組んでいく必要があると思います。その中で、自分に出来ることは何かを考えていきたい。
- 被害を人から受けた傷を癒し回復するサポートができるのも人だから。